



保健センターだより
 関東学院
 学院保健センター
 2024.1.5

大学における感染症について

<新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザ>

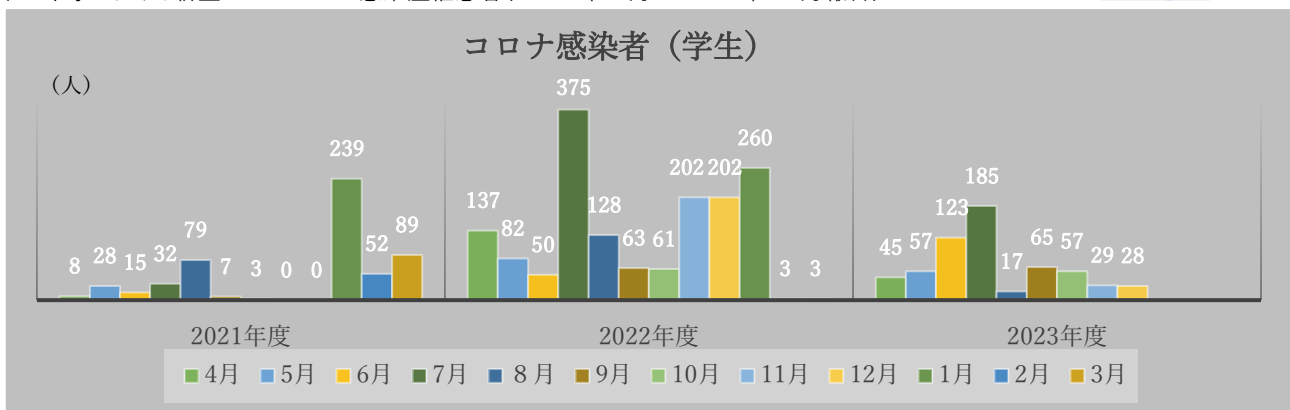
① 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月中国武漢市で「原因不明のウイルス性肺炎」として始まり、世界的に感染拡大し「パンデミック」となりました。緊急事態宣言が発令され、日常生活は一変しました。保健センターは大学という集団生活の中で、感染拡大を防ぎ、クラスターを出さないことに最大限努力しました。特に寮生活や部活動の集団行動に対しては細心の注意を払いました。感染者や濃厚接触者・濃厚接触者疑いなど1人ひとりに聞き取りを行い、体調確認や待機期間の確認、今後の方針の相談にのりました。

第7波(2022年7月～)の急激な感染者拡大時には、保健センターも1日100件以上の対応に追われました。聞き取りに際し学生の方々、教職員の方々にご協力いただき感謝しております。



図1 本学における新型コロナウイルス感染症罹患者(2021年4月～2023年12月報告)



② 季節性インフルエンザ

新型コロナウイルスが猛威を振るっていた昨年度までは、ほとんど報告のなかった季節性インフルエンザウイルスですが、この冬は感染が増加しています。保健センターに報告のあった中には、A型とB型同時に罹患した人や、新型コロナに罹りそのあとすぐにインフルエンザA型に罹ったという人もいます。この冬は咽頭結膜熱や感染性胃腸炎などの感染症も流行しています。成人式、歓送迎会などの機会も増えるため、**春までのシーズン中、まだまだ感染症に注意が必要です。**感染予防と感染拡大防止のため、こまめな手洗いや咳エチケットを徹底し、体調管理に留意してください。体調がすぐれないときは無理せず休養し、マスクをするなど注意しましょう。

インフルエンザ急増!

図2 本学における季節性インフルエンザ罹患者(2021年4月～2023年12月報告)

